

# 令和8年度 宮古島市立久松中学校グランドデザイン

## 校訓 文武両道

身につけさせたい資質・能力  
創造(思考力・判断力・表現力)挑戦(学びに向かう力・人間性等)自立(知識・技能の活用)

### 学校教育目標

心身共に健康で、主体的に学び、自己実現をめざす生徒の育成

#### 【めざす学校像】

- 1 「個別最適な学び」を実現する学校
- 2 「協働的な学習」を重視する学校
- 3 生徒の「自己肯定感・自己有用感」を育む学校
- 4 カリキュラムマネジメントによる「資質・能力」育成を促進する学校
- 5 開かれた学校運営と連携を重視する学校

#### 【めざす生徒像】

- 1 夢を持ち、自己実現に向け、意欲的に学び続ける生徒
- 2 心豊かで思いやりのある生徒
- 3 自ら進んで、新たなことに挑戦し、自立できる生徒

#### 【めざす教師像】

- 1 ファシリテーター(促進者)として、生徒の学びを引き出す教師
- 2 教育専門家としての確かな力量をもった教師
- 3 生徒に寄り添い夢や希望を与える教師

### 【本年度の指導の努力点】

- ① 沖縄県学力向上推進施策(推進期間:令和7~9年度)に示す、「自立した学習者」育成プロジェクトに基づいた授業改善に努める。
- ② 授業改善の取組に示された4つの中から、『「自学自習力」を育む取組の充実』及び『「学習基盤としてのICT」の活用』の2つを重点的に取り組む。
- ③ 日課表に「久松タイム」を固定化し、学校生活の振り返りと家庭学習への動機付けを行うことで、自己の行動を振り返り次に生かせるようにする。
- ④ 毎朝の活動は読書活動の時間として固定し、穏やかに学校生活がスタートできる時間であるよう心がける。

## 自立した学習者育成に向けて

### 「自立した学習者」を育む取組の充実

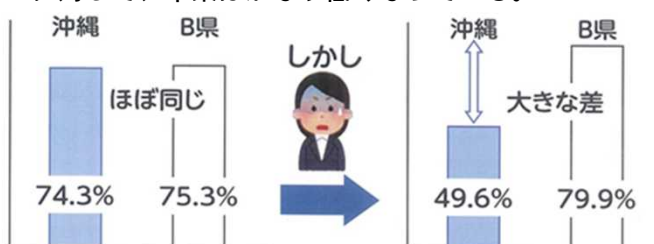
#### ■ 久松タイム

週時程に清掃活動終了から終学活間の10分間を設定し、日々の学習振り返りや家庭学習めあて設定等による動機付けの時間とする。

#### ■ GSRノートの活用

久松タイムでは、G(五勇士)S(スタディ)R(ルーティーン)ノートを活用し、生徒個々が目標達成に向けて自分自身に必要な学習を計画できるようにサポートする。

○ 沖縄県とB県生徒の進学希望に大差なし。しかし、その目標実現に向けて家庭学習を行っているか。の問いに対して、本県はかなり低くなっている。



### 「学習基盤としてのICT」の活用

#### ■ 情報活用能力の位置付け

学習指導要領で「情報活用能力」は学習の基盤となる資質・能力とされ、「令和の日本型学校教育」実現に不可欠であることの認識に立つ。

#### ■ 子供主体の学びへの転換

「自立した学習者」育成へ向け、ICTを学習基盤として最大限活用し、多様な子供たちの学びを主体的なものへ転換する。

#### ■ 探究的な学びと日常活用

端末とクラウドを学習基盤と捉え、「探究のサイクル」の学習過程等において、日常的かつ効果的な活用を推進する。

#### ■ 探究的な学びと日常活用

教師も「学びの相似形」の視点で、校内研修や校務において授業と同様に端末やクラウドを活用することが不可欠である。

#### ○ 教育DXの視点から

職員会議の資料や連絡事項をクラウド化・チャット化し、「教職員自身がICTで業務の効率化を推進している姿」を生徒に見せる。